

八洲興業を子会社化

グローブシップ

工事領域強化を加速

グローブシップ(株)は、八洲興業(株) (東京・江東区)の全株式を取得、4月1日から八洲興業を子会社化した。

八洲興業は昭和41年創業で、2025年5月時点の売上高が14億円。設備工事会社。

空調設備工事、給排水設備工事、メンテナンス業務に強みを持ち、商業施設、オフィスビル、病院、学校、

マンション、官公庁関連施設など、幅広い建物に対して確かな技術を提供してきた。

グローブシップでは近年、ビルメンテナンスに付随した設備更新工事やレイアウト変更工事など、多岐にわたる依頼が拡大していることから、八洲興業のグループ化は、工事領域の強化を加速させる戦略的な取り組みとい

える。

八洲興業が培ってきた高い専門性と技術ノウハウ、そして顧客基盤を取り込むことで、グループ全体の工事事業を成長領域へと発展させていく。

グローブシップグループの現在の売上高は全体で約1200億円。今後も独立系ビルメンテナンス会社としての存在感を維持しながら、更なるサービス品質の向上、信頼の強化を図っていくとしている。